



大河小だより

小川町立大河小学校
令和8年9月10日 第18号
文責 校長 宮澤 忍

～子供の豊かな成長を支え、地域とともに歩み続ける学校～

〒355-0327 比企郡小川町腰越209 Tel. 0493-72-0068

【学校教育目標】 ○ 自ら学ぶ子（知） ○ やさしい子（徳） ○ たくましい子（体）

【年間生活目標】 「あいさつを広げよう」 「健康な生活を心がけよう」

【9月の生活目標】 「きそく正しい 生活をしよう」

1 学期終業式での児童（1・3・5年生代表者）の言葉を紹介します

一がっきにがんばったこと
一ねん 〇〇 〇〇 〇〇

ぼくが、一がっきにがんばったことは、二つあります。

一つめは、さんすうのひきざんです。けいさんをがんばりました。さいしよは、わからなかったけれど、ひきざんがよくわかるようになりしました。けいさんかあどがはやくなり、いっぱいできて、うれしかったです。

二つめは、そうじです。そうきんがけのやりかたがわかって、じょうずにふけるようになりました。六ねんせい、やさしくおしえてくれました。さいしよのころよりじょうずになって、たくさんそうじができてうれしかったです。

二がっきは、かんじがむずかしいので、かんじをしっかりと覚えて、いっぱいかけるようになりたいです。かたかなもれんしゅうをして、しっかりおぼえたいとおもいます。

一學きにがんばったこと
三年 〇〇 〇〇 〇〇

わたしは、一學きにがんばったことが三つあります。

一つめは、漢字です。漢字で一ばんむずかしかったのは、問題の「題」です。かくすうが多くて、わすれそうになりました。でも、だんだん覚えてきて上手にかけるようになりました。

二つめは、体育です。さいしよは、前てん、こうてんがうまくできなかったけれど、だんだん練習していくうちに、うまくなりました。こうてんも、さいしよはうまうまくなかったけれど、練習しているうちに、うまくなって、さいごは、上手にできるようになりました。

三つめは、りかです。りかで一ばんたのしかったのは、かぜとゴムのはたらかです。ゴムカーでゴムのぼして走らせたり、うちわでかぜをほに当てて走らせたり、いろいろなじっけんをしました。

二學きの体育や、漢字、りかをがんばりたいです。とくに、漢字がむずかしくなるとおもうので、いっぱい練習したいです。

※5年生の代表者は、裏面に掲載されています。

水難事故への注意喚起について

今年の9月は、雨の日が多く、雨により河川が増水しています。雨が降ったら河川や水路に近付いたり、中に入ったりしないよう、ご家庭でも注意喚起をお願いします。

一学期に頑張ったこと

五年 〇〇 〇〇

今日で5年生の一学期、そして、大河小学校最後の一学期が終わりました。私は、四月から高学年の仲間入りをし、たくさんさんのことを頑張ってきました。その中でも、特に頑張ったことが三つあります。

一つめは、硬筆です。高学年になって字数も増え、はじめはうまく書けませんでした。が、お手本に近い字が書けるように頑張りました。来年は、鉛筆で書く硬筆が最後だと思うので、今年以上に頑張りたいと思います。

二つめは、水泳学習です。私は、あまり水泳が好きではなく、どちらかというと苦手です。でも、水泳学習がある時は、必ず自分の目標を立てて一生懸命練習しました。最後の時間に行われた検定では、はじめの時より倍の距離を泳げるようになりました。息継ぎはまだ課題が残るので、来年できるようになりたいです。

三つめは、委員会です。私は運動委員会に入っているのですが、体育小屋の鍵の開け閉めを担当しています。一学期は鍵開け当番を忘れてしまいそうになったこともあったけれど、五年生同士で声をかけ合いながら、活動を進めることができました。

一学期は、これらのほかに宿泊学習や新体力テスト、プール清掃など、多くの行事に全力で取り組みました。二学期も運動会をはじめとした多くの行事が予定されているので、一学期の経験を活かして、さらに頼りになる高学年を目指していきたいです。

※2学期始業式での児童（2・4・6年生代表者）の言葉は、次の学校だよりで紹介します。

自転車用ヘルメット着用について

令和5年4月1日から、全ての自転車利用者に対する乗車用のヘルメットの着用が努力義務となりました。

自転車の事故において、亡くなられた方の約6割が「頭部」に致命傷を負っています。また、ヘルメットを着用していない場合の致死率は、着用している場合に比べて約2.1倍高くなるというデータもあります。「少しの距離だから」「みんな被っていないから」という油断が大怪我につながります。

ご家庭でも、自転車の交通ルールの確認とともに、自転車に乗車する際のヘルメットの着用についてご検討ください。

インフルエンザが流行傾向です

従来は冬場を中心に流行していたインフルエンザですが、残暑が続く9月頃から県内では学級閉鎖や学年閉鎖を行う学校が見られます。

2学期の学校生活も本格的に始まりました。体調を崩さないためにも、日頃からの感染予防を改めて意識しましょう。基本となるのは、こまめな手洗い・手指消毒、換気、咳エチケットです。咳やくしゃみなどの症状がある場合には、必要に応じてマスクを着用するなど、周囲への配慮も大切です。また、十分な睡眠と休養、バランスのとれた食事、適切な水分補給を心掛け、体調を整えておきましょう。

発熱や咳、強いだるさなど、いつもと違う症状がある場合は、無理をして登校せず、まずは家庭で健康状態を確認してください。また、必要に応じて医療機関への相談・受診をお願いします。

感染症を完全に防ぐことは難しくても、一人一人の小さな行動が、学校全体への感染拡大を防ぐことにつながります。子供たちが安心して2学期の学校生活を送ることができるよう、ご家庭におかれましても、感染予防へのご協力をお願いいたします。